永遠に名を要える 遅に名を覇す 恵 迪 寮 な は けいてきりょう 気身を刺す北国の

我等が理想何時の日かから 四百野人の集いしに 成さざらむとぞ意気高い。

窕多し札幌に

鳴呼誰か知る吾ざ をa E T Na C T E A をa E T Na C T E A A B A B C A T E A B A B 弊衣破帽の 知る吾がる吾が の身なれども ゚ の

野心に

吾等が行先に光明あり酔えば肩取り乱舞する 尽きぬ想い 燃^も á を 酒 が 原が 始し 品舞する 杯がま 林が

からずや此 此の饗宴 ŋ

仮いこの身は一介の 木の葉身に降る秋の日に 大の葉身に降る秋の日に たと み いっかい かっかい

に

2野望は永遠 きも Ō と知るとても